

〇えちごとらのをニ對スル私見

東京帝國大學助教本田正次博士カラえちごとらのをノ學名ニツイテ同氏ノ意見ヲ記シタ雜錄記事ノ原稿ヲ示サレ其文面ニ不穩當ノ箇所ガナイデアラウカト相談ヲ受ケタ。同博士ガ此記事ヲ物スル迄ニハ相當考慮シタコトハ明カデ氏が學問ノ正確ヲ期スル意味カラ此雜錄ヲ敢テ記スノdealガ其レニモ係ラズ京都派ノ人々トツマラス意見ノ衝突ヲ起シタクナイ心カラ用意周到ニ私ニモ相談サレタノデ私ハ同氏ノ學問ニ對シ世間ニ對スル心情態度ニ對シ誠ニ敬意ヲ表シタイと思フ。然シ乍ラ學問ハ正確ヲ期セバナラス、間違ハ間違トシテ記スノガ吾等學者ノナスベキ態度deal、後輩ガ先輩ノ發表シタモノ、誤ヲ訂正スルト先輩カラ睨マレルナド、云フコトハ明治、大正迄ノ世相デ昭和時代ニハ少クモアリ得ベカラザルコトdeal、但シ訂正スル時ニハ語句ヲ慎ムコトガ必要デアリ殊ニ先輩長上ニ對スル禮ヲ忘ル、様ノコトガアツテハナラスガ兎角調子ニ乘リ天狗ニナツテ長上ヲ無視シ自身獨リガ此世ニ生レテ此學問ヲシテ居ル様ナ氣ニナリタガルモノdeal、本田博士ガ今度ノ記事ヲ記シタ動機ハ矢張京都派ノ某氏ガ不用意ニ用キタ字句ガ因ヲナシテ居ルノデ吾人ハ慎シム上ニモ慎シム必要ガアリ公明正大ガ無遠慮ニナラス様ニシタイモノdeal。

扱テ此問題ハえちごとらのをガえぞとらのをト同一物dealト云フノガ京都派ノ意見dealガ其コソ問題dealと思フ。東京帝國大學理學部植物學教室所藏ノえぞとらのをノ標本ノ包ノ中ニハ次ノ標本ガアル。

産地	採集者	産地	採集地
北海道 後志 高島 (松村 任三)	北海道 日高 アボイ山 (中井 猛之進)		
„ „ 鹽谷 (宮部 金吾)	„ 石狩 札幌 (宮部 金吾)		
„ „ 岩内 (矢田 部良吉)	„ „ „ (松村 任三)		
„ 日高 様似 (宮部 金吾)	本島 陸奥 鯉ヶ澤 (矢田 部良吉)		
„ „ アイブシマ(„)	„ 甲斐 白峯山 (後藤 精一郎)		

以上ノ中最後ノ二ノ標本ハ疑問ノモノdeal、即チ鯉ヶ澤ノモノハ本田博士ガえちごとらのをトスルモノニ同ジク白峯山産ト云フモノハ恐ラク白峯山ノ産デナクテ北海道産ノモノガ誤テ白峯山トナツテ居ルノダト思フ。

私ノ考デハえちごとらのをトえぞとらのをトハ別種deal、然シ種ト考ヘタリ變種ト考ヘタリスルハ人々ノ考ヘ様デアツテ私ガ種ト考ヘタカラトテ他人ニモ種ト考ヘナクテハ行カヌト強要スルコトハ出来ナイ、然シ兩者ハ兎モ角次ノ様ニ差ガアル。

えぞりとらのを葉裏ニハ通例一面ニ毛ガアル、毛ハ通例短クテ曲ルガ多ク密生スルト押シ合ツテ立ツ様ニナル、小花梗ヤ花軸ニハ極メテ短イ 2-3 (1)個ノ細胞ヨリ成ル毛ガアリ此毛ハ概ネ立チ往々腺狀毛トナルコトガアル、苞ニハ短イ毛ガアリ屢々腺毛ニナル、萼片ハ通例披針形カ又ハ狹披針形デアツテ之ニモ極メテ短イ毛又ハ腺毛ガアル。

えちごとらのを葉裏ニハ通例中肋ト主脈トノ上ニノミ稍長イ多細胞ノ毛ガアル、花軸ト小花梗ニモ6-7 (5-8)個ノ細胞ヨリ成ル腺狀ナラス毛ガアル、此毛ハ多クハ前方ニ屈シテ居ル、苞ハ縁ニ小花梗ト同様ノ毛ガアル、萼片ハ通例披針形又ハ長卵形デ縁ニハ小花梗同様

ニ多細胞ノモガアル。

私見ノ様ニ兩者ヲ別種ト考ヘルト次ニ起ル問題ハ兩者ノ學名デアル。えちごとのをハ *Veronica Denkichiana* HONDA デアツテ問題ハナイガえざるりとらのをハ歐洲ニアル *Veronica maritima* L. 一名 *Veronica longifolia* L. デモナク西比利亞、蒙古、滿鮮ニアル *Veronica pseudolongifolia* PRINTZ デモナイ。種名ニ *Veronica longifolia* var. *Grayi* FR. SCHMIDT ヲ訂正シタ *Veronica Grayi* MIYABE & KUDO ガ其以前ニアル *Veronica Grayi* ARMSTRONG ノ爲メニ採用ガ出来ストナルト京都派ノ人ガ誤テ記シタ *Veronica Asa Grayi* MIYABE & MIYAKE ナル幽霊名ハ宮部博士モ喜バレヌコトデアルカラ斷然廢棄シテ新ニ *Veronica Miyabei* NAKAI & HONDA ナル新名ヲ附スルノガー番穩當デアルト思フ從テ之ヲ學問上價值アルモノトセン爲メニ次ノ記事ガ必要トナル。

Veronica Miyabei NAKAI & HONDA, nom. nov.

Syn. *Veronica longifolia* L. var. *Grayi* FR. SCHMIDT in Mém. Acad. Imp. Sci. St. Pétersb. VII sér. Tome XII no. 2, p. 162 no. 327 (1868).

Veronica Grayi (non ARMSTRONG) MIYABE & KUDO ex MIYABE & MIYAKE, Fl. Saghaline p. 346, no. 426 (1915).

Nom. Jap. *Ezo-Ruri-Torano-o*.

Hab. in Yezo & Sachalin. (T. NAKAI)

(中井猛之進)

〇ブラジル大風子

現在癲病治療ニ用ヒラレル唯一ノ藥デアル處ノ大風子油ノ原料植物ハ「東インド」及「ビシ
アム」ニ産スルいひぎり科ノ
Hydnocarpus 及ビ *Taraktogenos* 屬植物デアツテ是等ノ
植物ニ就テハ本誌 8 卷 178 頁
(昭和 7 年)ニ詳細ノ記事ガアル。トコロガ同科他屬植物デ
上記大風子油ト同ジ種子油ヲ
含有スルモノニ次ノ 3 種ガ知
ラレテ居ル。

Carpotroche brasiliensis

ENDL. (Brazil)

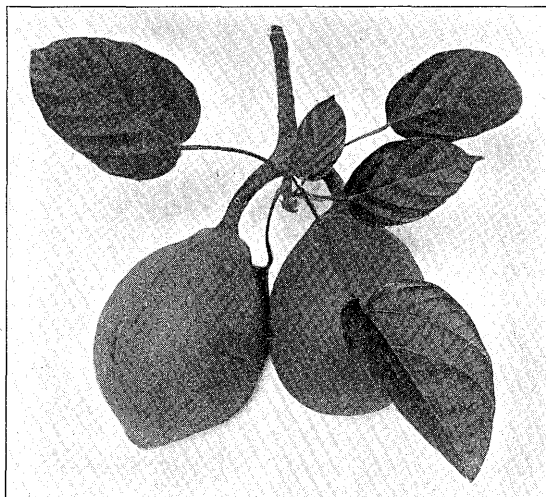
Asteristizma macrocarpa

BEDD. (India)

Onchoba echinata

OLIVER (Africa)

ココニ述ベントスルノハ上



Pangium edule REINW.